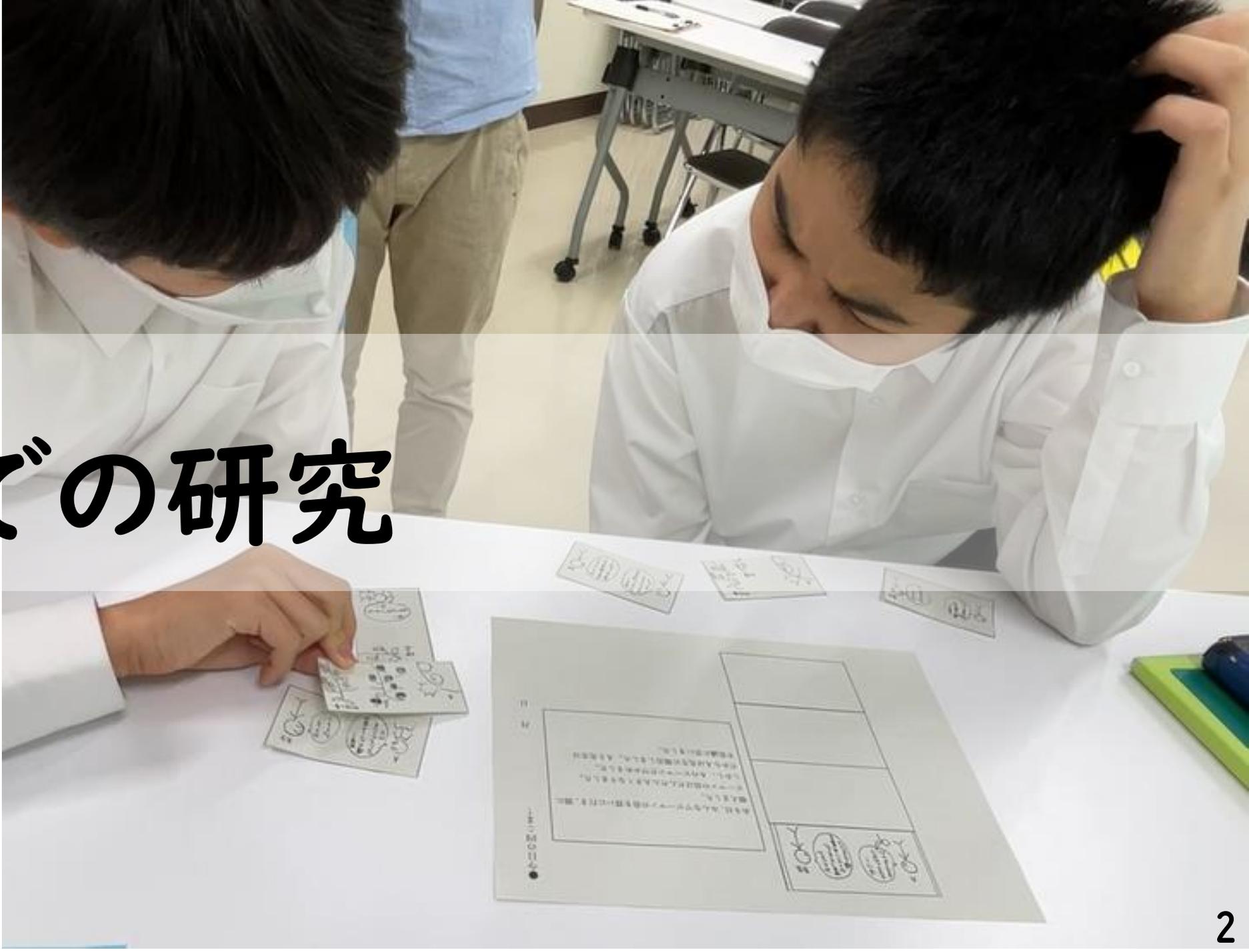


令和4年度 富山大学教育学部附属特別支援学校 公開教育研究会
研究概要

子供の主体的な学びを実現する 授業づくり

～単元構成の工夫と教員同士の聴き合いの充実～

これまでの研究



授業研究「学びあいの場」

子供の**学びの過程**に注目し、
「**子供が何を考え、どう学んでいたか**」を
実際の**子供の姿**から見取り、捉えようとする

子供の主体的な学びの
実現を目指す

子供の視点で見る

聴き合う

「子供の視点で見る」授業研究

教えたことを
子どもが正しくできるように…
指導者（教師）の
立場から



教師の
ねらいは？

有効な
支援方法は？

転換

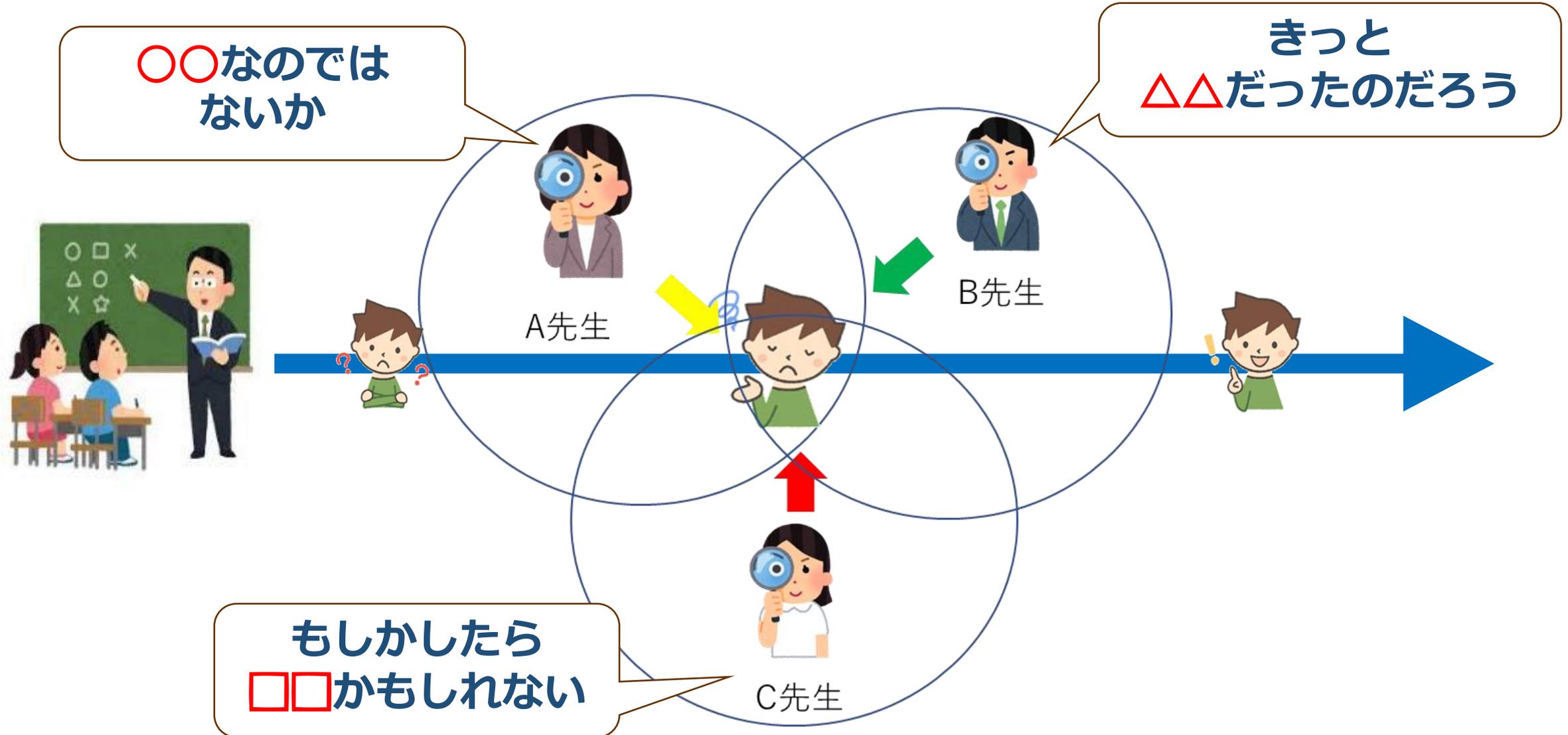
子どもが何を学んでいるか
見極めるために…
学習者（子ども）の
立場になってみて



子どもは
どう考えたのか？

どうして
〇〇したのか？

「聴き合う」授業研究



子供の主体的な学びとは？



上手だね！
また当たったね！

- ・楽しそうに何度も投げる
- ・ボールがたくさん的に当たる

主体的？



難しかったかな…
分からなかったかな…

- ・1回投げてすぐにやめてしまう
- ・座ったまま投げようとしない

主体的でない??

「子供の主体的な学び」の実現を目指す授業研究



上手だね!
また当たったね!

- ・楽しそうに何度も投げる
- ・ボールがたくさんの的に当たる

子供の
主体的な「姿」



すごいね、考えて
場所を変えてるんだね!
○○さんの方法を
やってみただね

- ・たくさんは投げないけど、
毎回投げる位置を変えている
- ・友達の様子をじっと見ている

子供の
主体的な「学び」



主体的な「姿」をベースにして、更なる主体的な「学び」へ

授業研究「学びあいの場」

子供の**学びの過程**に注目し、
「**子供が何を考え、どう学んでいたか**」を
実際の**子供の姿**から見取り、捉えようとする

どの子供も授業の中で
いろいろと考えている

子供の主体的な学びの
実現を目指す

主体的な「姿」以外の所にも、
主体的な「学び」がある

子供の視点で見る

その子供はどう考えたのか？
どうして〇〇したのか？

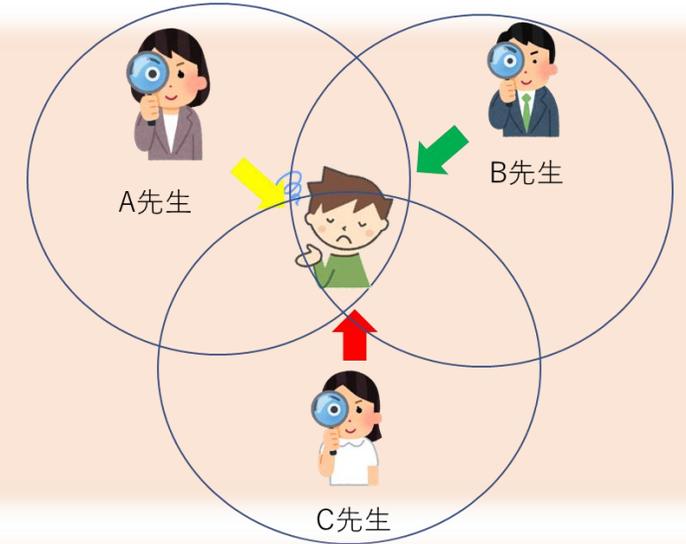
聴き合う

複数の教師の解釈を重ね合わせることで
子供の学びに迫る

R3年度：「聴き合い」と「子供が考え始める仕組み」

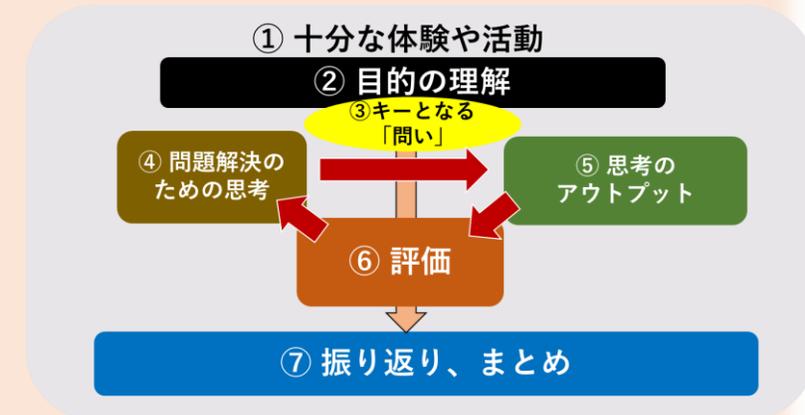
授業づくりの聴き合い

- ・「学びあいの場」の視点を授業づくりのための聴き合いに生かす。
- ・授業→聴き合い→授業改善→授業→聴き合い→…と重ねて行く



子供が考えるための単元構成イメージ

- ・単元や授業の中に子供が考える機会を意図的に仕組む

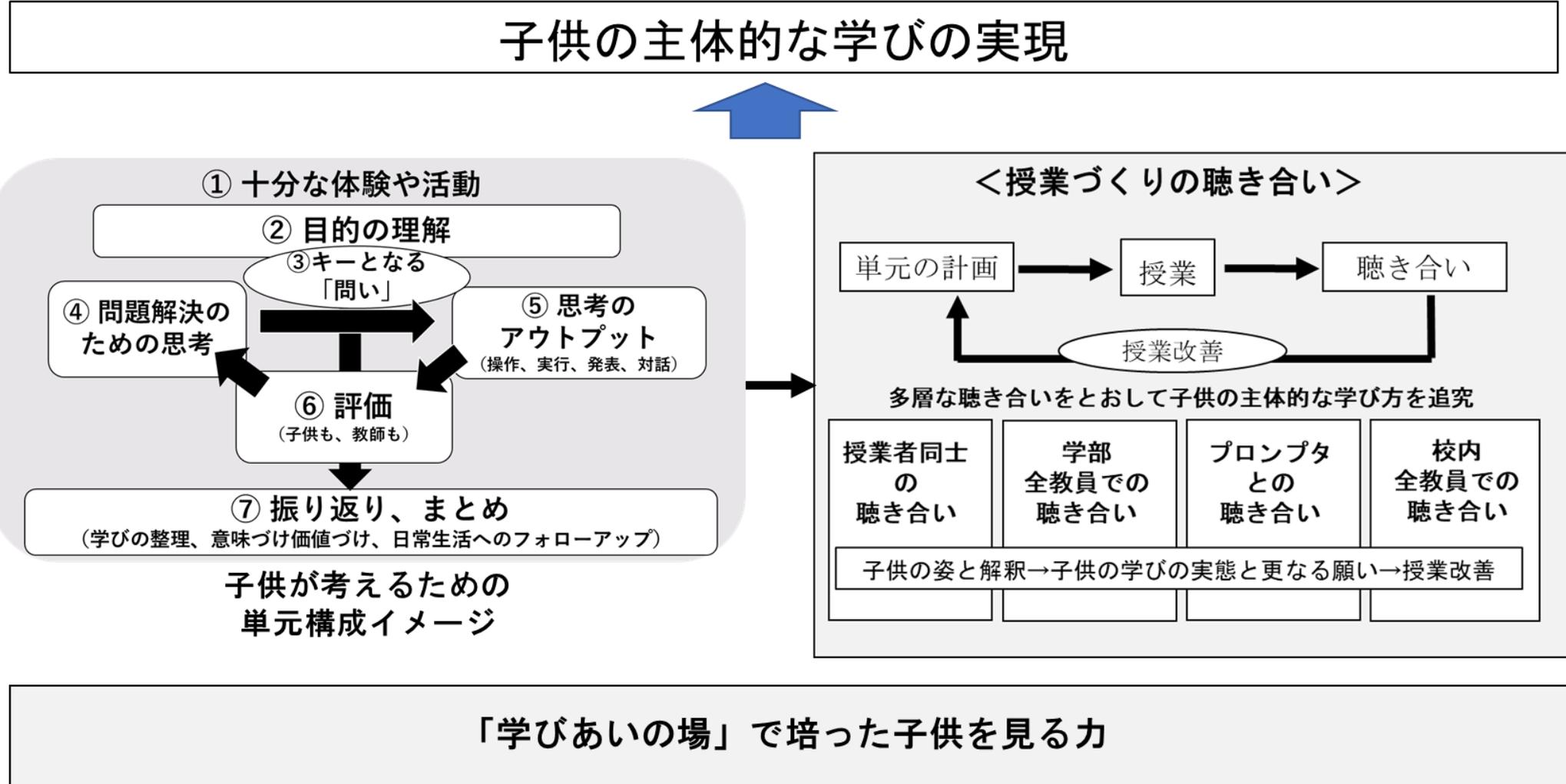


課題

- ・実践をより重ねて、成果や課題を明らかにする。
- ・子供の学びを確認、評価しながら、単元や授業の目標により迫る授業づくりをする

子供の主体的な学びを実現する授業づくり

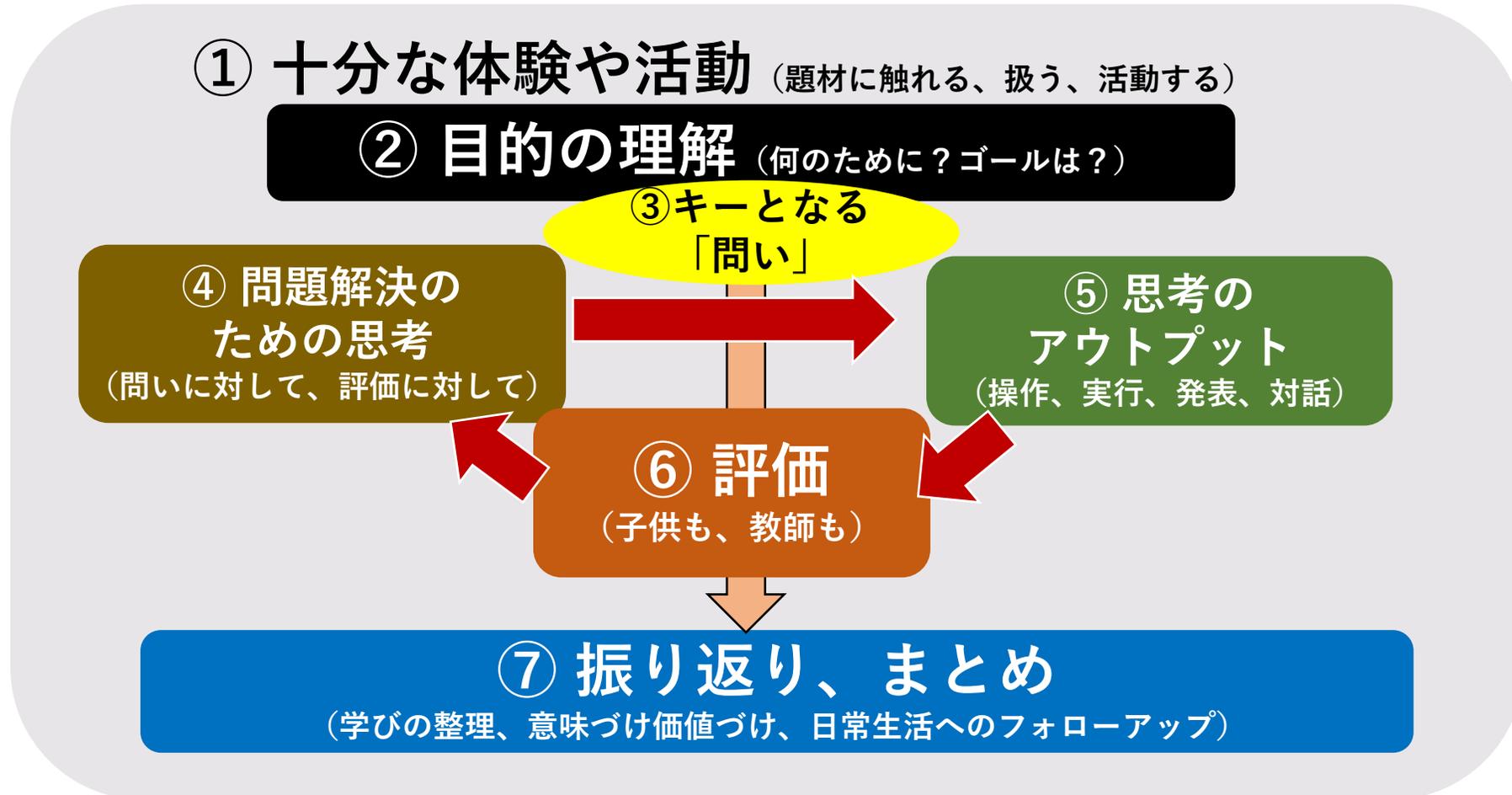
～単元構成の工夫及び教員同士の聴き合いの充実～



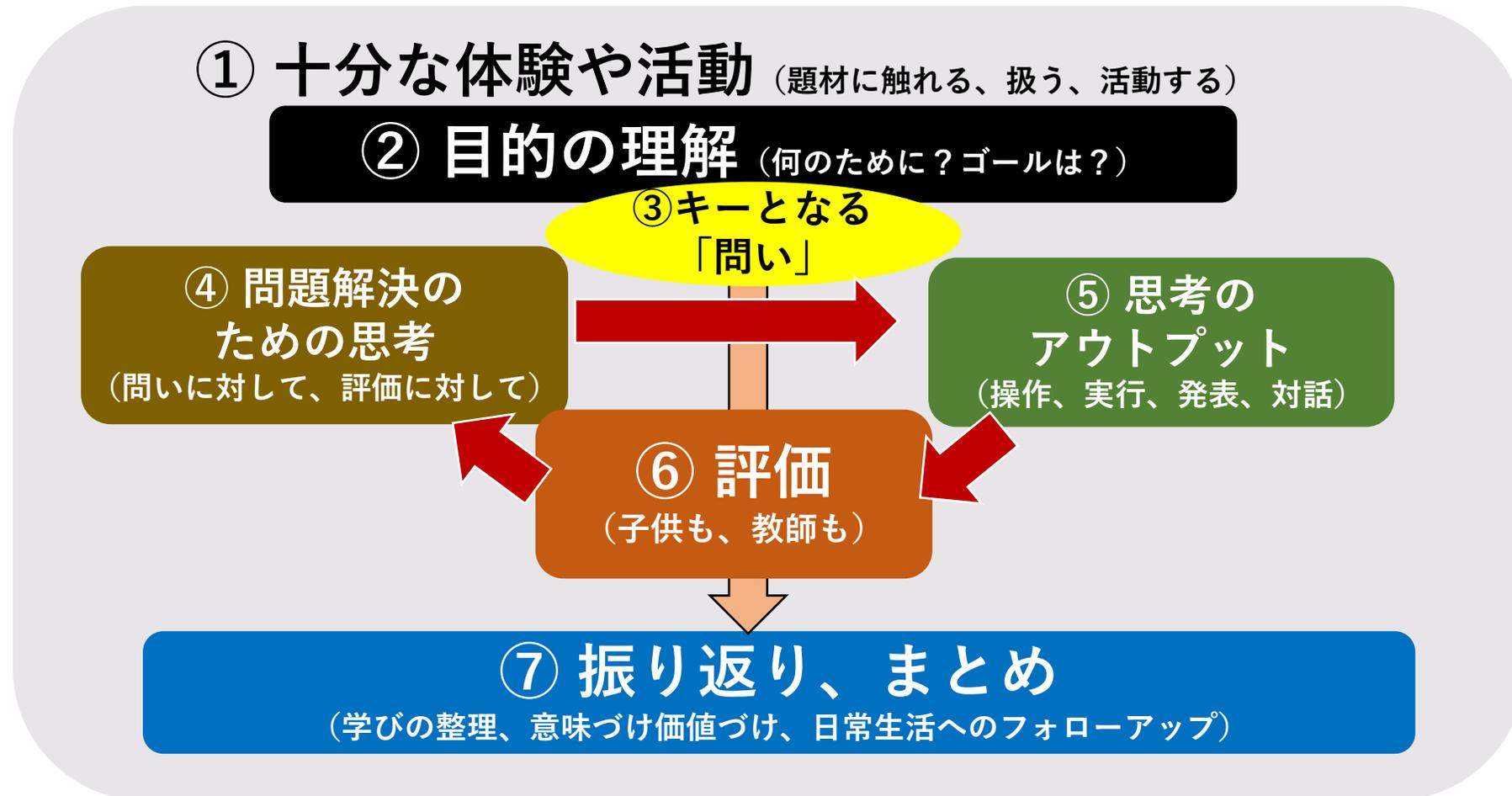
子供が考え始めるための 単元構成の工夫



子供が考えるための単元構成イメージ



子供が考えるための単元構成イメージ



課題

- ・より活用できるような仕組み作り
- ・授業の目標達成に向かう「思考→アウトプット→評価」の往還の実現

個別の指導計画

各教科等	〇〇	単元名	〇〇をしよう	実施時期	〇月
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ (知識・技能) ・ (思考力・判断力・表現力等) ・ (学びに向かう力・人間性等) 			単元の目標	
学習内容 (評価規準)		学習活動		単元の指導について	
<ul style="list-style-type: none"> ・ (知技 〇段階 〇〇) ・ (思判表 〇段階 〇) 		1次 (〇/〇) 「 をしよう」 ・ 【十分な体験】			
		2次 (〇/〇) 「 をしよう」 ・ かな? 【キーとなる問い】			
		3次 (〇/〇)			
学習指導要領に 基づく評価規準		単元計画の中に 単元構成イメージの 各項目に当たる内容を 明記する			

ブリーフィングシート

<授業名> ○○	<学習グループの構成> ○年生○人	
<日時> ○月○日 () ○限	<授業者> ○○	
<本時/全体> ○時/○時	<場所> ○○	
<授業者の思い> ・これまでの学習では○○ ・○○できるようになってほしい。		
<本時のねらいと大まかな展開> ねらい：○○をしよう 展開： ①挨拶をする ②○○○ 【十分な体験】 【目的の理解】 ③ 【キーとなる問い】	<評価場面 (評価基準) > ○○ができる 【思判表】	
<対象児童生徒の捉え> Aさん：・・・ Bさん：		
<児童生徒の姿を見てほしいところ、話題にしたいところ> ・ 見てもらいたい。【知技】 ・ かどうか話題にしたい。【思判表】		目標(評価)に関連した 授業の注目点や 聴き合いでの話題

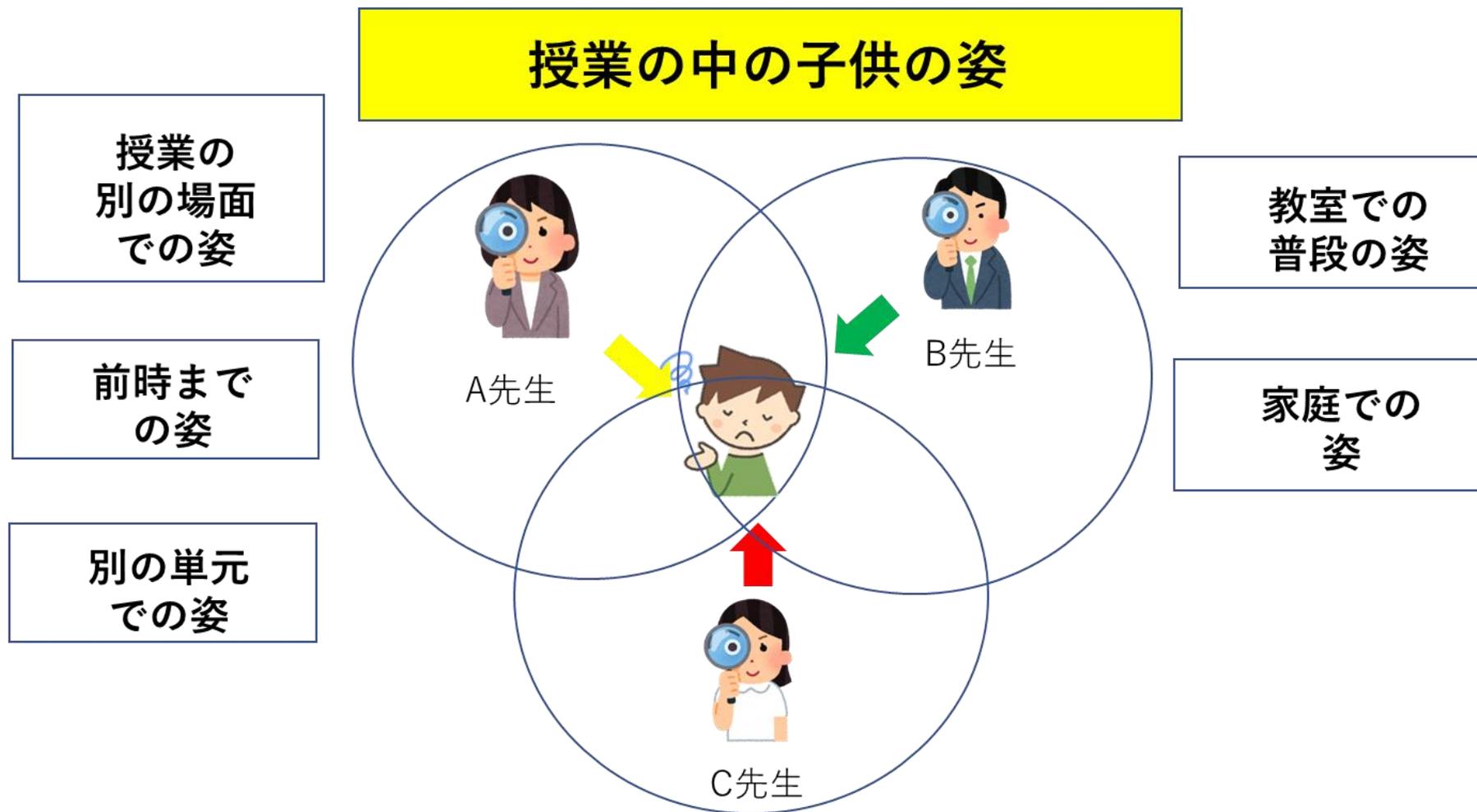
本時の展開にも
 単元構成イメージ
 の視点を入れる

本時の授業の評価場面
 (評価基準)

教員同士の聴き合いの充実



授業づくりの聴き合い

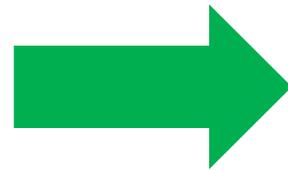


「授業→聴き合い→授業改善→授業→聴き合い…」を重ねて行く
→更なる主体的な学びの実現へ

授業づくりの聴き合い

気になる場面について 2枚のラベルに書く

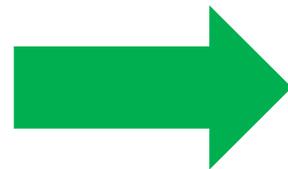
子どもの言動を
そのまま描写する



言動ラベル

(つぶやき、動き、視線、関わりなど)

「なぜそうしたのか」
を子どもの視点で
推察する



解釈ラベル

(その時の子供の思いや考えを推察)

聴き合いのプロセスを示すフレーム①

姿と解釈

各自の言動ラベルと
解釈ラベル（付箋）を挿入し、
聴き合う

Aさんは、ホワイト
ボードを見て
〇〇した。

Bさんは教師に「
〇〇？」と聞か
れて、「xx」と
言った。

Aさんは、
プリントに
〇〇と書い
た。

Aさんは、直前に〇〇と
言っていた。

〇〇と思っ
ていたの
ではないか？

xxと考
えてい
たの
ではないか？

〇〇し
よう
と思
って
い
た
の
で
は
な
い
か？

△△だ
った
の
で
は
な
い
か？

〇〇が
分
か
り
始
め
て
い
る
の
で
は
な
い
か？

〇〇
な
の
か
も
し
れ
な
い。

新たな事実や解釈を、
追加ラベルで挿入したり、
直接書き込んだりする

聴き合いのプロセスを示すフレーム②

実態の整理

聴き合いで見えてきた
今の考え方、考え方の実態を
再度確認する

〇〇と考
えていた
のではない
か

〇〇に気
付き始
めている
のでは
ないか

授業の目標について(評価)

授業の目標の達成具合はどうか？
何がどこまで達成できたか？
実現したい姿は見られたか？

思判表の〇〇は
できているが、
××の姿はまだ見
られない。

次への願い

実態や評価から見えてきた
次の願い、考えてほしいこと
どうなってほしいか

もっと〇〇
を考えてほ
しい。

〇〇に気
付けてほ
しい。

授業改善のアイデア、 手立て

子供の姿と解釈、見えてきた実態と願
いを基に、更なる主体的な学びを
実現するための支援方法を記入する

〇〇を体
験する
時間を
取る。

××が
できる
プリント
にする。

〇〇な
時に
教師が
××を
確認
する。

例「リレーをしよう」（高等部体育）：フレーム①※抜粋

その日のリレー終了後、その様子の動画を見ながら、
次回の作戦をチームのみんなで考える場面で



姿と解釈

教師から「今日はどうだった？」と聞かれて、Bさんは「良かった、早くね？」と言った。

（その日のチームの作戦だった）「走りながらパスをする」の作戦がうまくいったと思ったのではないか。

今日はバトンを落とさなかったからよかったと思ったのではないか。

前はバトンを落としてしまっていた。

実際に体験して「走りながらパス」の良さに気付いたのではないか。

バトンを落とすたくない思いが強いのではないか。

走順を決めるときに、Bさんは第1走をすぐに選んでいた。

- ・バトンパスの重要性やしっかりつなぐことの大切さに気付き始めている？
- ・前回のことを踏まえて次の作戦を考えようとしている？

例「リレーをしよう」(高等部体育):フレーム②※抜粋

実態の整理

バトンパスの重要性やしっかりつなぐことの大切さに気づき始めているのではないか

前回のことを踏まえて次の作戦を考えようとしている?

授業の目標について(評価)

(知技:リレーの基本的なルールを知る)
バトンをつなぐことが分かってきた

(思判表:方略を考えて実践する)
前回は踏まえて方略を変えようとしている

(主体性:話し合いに参加する、決めた作戦を実行しようとする)
他のチームを参考にしようとしている

次への願い

「上手くいった!次はもっと〇〇しよう」と考えた作戦が上手くいったことを実感してほしい

振り返りで自分の思いを発言してほしい

例「リレーをしよう」(高等部体育):フレーム②※抜粋

授業改善のアイデア、手立て

その日の作戦と結果をリンクさせて考えられるような振り返りシートを用いる
それを毎回残して蓄積していけるようにする

振り返りをしやすいような動画を撮る
(撮るポイントや位置、連続写真を用いる、など)

振り返りの時に、教師からBさんに言葉掛けをしたり、直接質問したりして思いを聞いてみる。

聴き合いを受けて、授業者の気付き

- ・走順を決めるときや振り返りの時に、Bさんがどう考えているのか?そこまで見ることができていなかった。質問したり、話を振ったりして思いを引き出してみたい。
- ・振り返りで使っているワークシートでは、その日の目標と結果のタイムしか分からないことに気付いた。

例「リレーをしよう」（高等部体育）：事後について

- ・また第1走を選んだBさんに「どうして第1走がいいの?」と聞いてみた。

→Bさん「1走が走りやすい、もらうのは嫌」
「落としたくない」

→その次の日の授業で第3走にチャレンジできた。

- ・その日の作戦（目標）と結果を踏まえて、次の課題を記入できるワークシートに変更した。

→目標と結果、次の課題のつながりが分かりやすくなり、次の課題の話し合いがスムーズに行われるようになった。



多様で根拠のある聴き合いにするために



専門研修会

- ・知的障害児者の認知や思考について
- ・子供が考える授業づくりと学習評価について



対象児童生徒の話

- ・認知や概念形成などの検査
- ・個別の教育支援計画等の再確認
- ・他の授業での様子

公開授業について

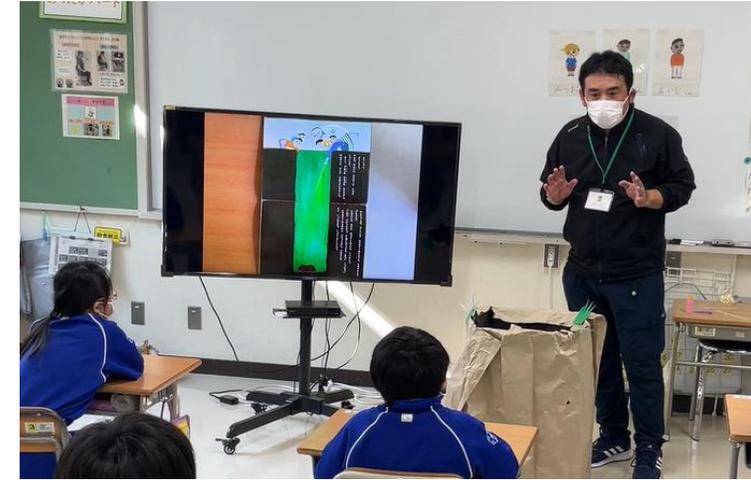


小学部 国語「登場人物の気持ちを考えよう～ろくべえまってるよ～」



授業者の思い

- ・絵本「ろくべえまってるよ」を読み進めたり、話に出てくる場面を実際に体験したりすることで、物語の大体を捉えたり、登場人物の気持ちを考えたりしてほしい。
- ・児童たちは今、登場人物の気持ちをどのように捉えているのか？ 教師の問い掛けや発問に対してどのように考えて発言しているのか？ 今後物語を読み進めていくのに、どんな場面設定や手立てがあると良いか？



聴き合い（分科会）で話題になったこと

- ・穴の中にいるろくべえの様子を見て「元気出てない」と言ったAさんの姿
- ・教師に「子供たちの気持ちは？」と問われて、「さみしい」と言ったBさんの姿

中学部 国語「四コマ漫画を作ろう」



授業者の思い

- ・四コマ漫画をたくさん読んだり、「起承転結」の構成を知ったりする中で話の読み取りや要約をしたり、読み取ったことを説明したりする力を付けてほしい。
- ・単元の終わりには、話の展開の自由さを知って、物語を自由に想像してほしい。自分でセリフを考えて表現してほしい。
- ・そのために、どんな学習内容や活動があったらよいのか？生徒たちはこの学習を始めたばかりだが、今どのように四コマ漫画を捉えているのか？考えているのか？



聴き合い（分科会）で話題になったこと

- ・物語の流れに合うように、四コマ漫画の絵カードを並び替えていたAさんとBさんの姿
- ・手掛かりを参考に、四コマ漫画の内容を要約して表そうとしていたAさんの姿

高等部 数学「表やグラフを読み取ろう～アンケートをとってみよう～」



授業者の思い

- ・いろいろな表や棒グラフに触れたり、自分で作ったりする中で、表や棒グラフについての理解を深めてほしい。
- ・友達や教員に「好きな○○」のアンケートを取り、結果を集計して表や棒グラフに表す中で、表やグラフの良さに気付いてほしい。実感してほしい。
- ・アンケートを集計して結果を発表しようとする際に、表やグラフをどのように捉えているのか？



聴き合い（分科会）で話題になったこと

- ・作った表やグラフを基に、「第○位は○○で○人です」と
ワークシートにまとめていたAさんとBさんの姿
- ・「表とグラフのどちらが分かりやすいと思った？」と聞かれて答えるAさんとBさんの姿